

令和 2 年度事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

(特定非営利活動法人の名称) 特定非営利活動法人つどい

1 事業の成果

1 法人の現況 (R3 年 3 月末)

- 1) 会員数 正会員 63 名、賛助会員 (個人) 65 名、(団体) 10 団体
- 2) 従業員数 職員 14 名 パートタイマー 32 名
- 3) 事業の展開状況: 令和 2 年度、ケアプラン、デイサービス 2 か所ともにコロナ禍で感染対策を取りながらサービスの提供ができました。B 型作業所は令和 2 年 4 月に移転した「あねがわしいたけハウス」で栽培や納品準備等の施設外就労を主に行いました。おかげさまでしいたけの納品先も増え、利用者さんの活動の場も広がり、工賃アップにもつながりました。  
先の見えないコロナ禍で、やむを得ず休止した事業もありましたが、できることをできる範囲で行い、これからも日々スタッフ一丸となって事業を進めてまいります。

2 各部門の現況

1) ケアプラン(居宅介護支援)事業

ア 職員体制

管理者 (主任介護支援専門員兼務) 1 名、主任介護支援専門員 1 名、  
介護支援専門員 2 名 計 4 名

イ 事業内容

ケアマネジャー 4 人で 24 時間体制を行い、特定事業所加算Ⅱを算定しています。  
新規依頼は年間 32 件で、うち 30 件が利用開始され、2 件が死去等により未利用。  
年間延 1670 件のケアプランを担当し、そのうち要介護の方が 1187 件、総合事業の方が 578 件を占めています。要介護の方が 71% 占めています。  
事業所内では週に 1 回のミーティングで利用者の共有を行い、ケース検討を月 1 回行っています。地域包括支援センターや社会福祉協議会、医療関係者等、他職種でかかわるようになっています。また他事業所と研修の機会やケース検討会を年 2 回実施し、事業所内・事業所外研修にも積極的に参加し、スキルアップの機会を持ってきました。

介護 1,187 件、総合事業 578 件 計 1,765 件

2) デイサービス(通所介護)事業

① デイサービスつどい

ア 職員体制

管理者 (生活相談員兼務) 1 名、生活相談員 (介護職員兼務) 1 名、看護師 3 名  
介護職員 5 名、送迎職員 1 名

## イ 事業内容

民家を再活用した富山型デイサービスを実施して10年目に入り、現在のときわ亭に移って3年目を迎えることになりました。現在は定員30名の通常規模通所介護で運営しています。ご自身の自宅のような雰囲気のとときわ亭では、利用者様が住み慣れた地域で安心して暮らせるような、在宅生活の継続を重視したプログラムを提供しています。

活動としては、書道やカラオケなどの趣味活動、調理や洗濯など毎日の家事活動、庭の整備など、利用者様に役割や意欲を持って過ごすことを大切にしてきました。また、野菜作りやベンチの修繕、毛糸のたわし作りなど、人生で培われた経験をとときわ亭で発揮していただくことができました。コロナ禍で施設の開放が困難な1年になりましたが、何か地域のためにできることはないかと皆さんと考えたところ、「熊岡神社をきれいにしたい」との声が上がり、落ち葉の掃き掃除をしました。近所の屋外歩行訓練の際は、地域の皆様と交流する機会もありました。今後も地域に根ざす施設として、ときわ亭が利用者様や地域の皆様の心の拠り所になるよう、職員一同奔走してまいります。

延利用人数 7,183人

## ② デイサービス七条つどい

### ア 職員体制

管理者（生活相談員兼務）1名、生活相談員（介護職員兼務）2名、看護師3名、介護職員4名、送迎スタッフ3名

### イ 事業内容

七条つどいデイサービスを開所し6年目になり、31名定員の通常規模通所介護で運営しています。

一日の計画を皆で相談して役割を決めています。活動をするを目的とせず、活動することで会話が増えて仲間作りに繋がり、人との関りが楽しくなることでやる気も向上できることといった相乗効果を目指しています。役割を持って生き生きと『やりたいこと』『したいこと』に意欲的に取り組んでいます。ご本人の能力を発揮するとともに身体機能維持向上を目標に活動されています。

利用者様のニーズに耳を傾け日常生活の中で機能訓練として、体操、散歩、調理、畑活動をされています。「人の為にもっと働きたい」「畑が大好き」「社会に貢献したい」という利用者様の思いを大切に、畑で収穫した野菜を昼食のみそ汁の具にするなど自主性を高めました。住み慣れた地域、在宅でいつまでも安心して暮らせるように個別の関わりを大切にしています。職員一同、力を合わせて笑顔で活動してまいります。

延利用人数 6,897人

## 3) いきいきつどい（令和3年3月31日事業終了）

### ア 職員体制

管理者（介護職員兼務）1名

### イ 事業内容

ときわ亭に拠点を移し、3年が経ちました。活動内容も幅広くなり、上半期はしいたけハウスでの作業が主な活動でした。外に出て仕事をすることで、より社会参加の喜びが感じられたのではないかと思います。下半期はときわ亭で、調理や事務仕事、手芸など

の活動を通じて、デイサービスの利用者様との交流を多く持つことができました。  
いきいきひっちゃから始まった活動支援型通所サービスですが、令和3年3月末をもちまして、事業を終了することになりました。地域の皆様や関係者の皆様の協力もあり、利用者様が社会の中でいきいきと過ごすことができましたことを大変感謝しております。この事業の経験を次に活かしたいと考えております。

延利用人数 147人

#### 4) 就労継続支援B型作業所 B型作業所つどい

##### ① B型作業所つどい

B型作業所利用者12名と共にボランティアさん、職員が「きんたろうしいたけ」の収穫・販売に日々努力を重ねて参りました。

KBS 京都放送「夢追人」、BBC びわ湖放送のテレビ「金曜 オモロしが」、テレビ朝日「おはよう朝日です」できんたろうしいたけを取り上げていただき、利用者様のモチベーションアップにもつながりました。家族や友人から自分たちの頑張りを認めてもらえる喜びを感じてもらえたと思います。

今までの納品先に加え、令和3年3月にオープンした生活協同組合「コープ ながはま店」様への納品も決まり、店舗へ出向き社会や地域とのつながりを持ちながら作業を行っています。

農園作業では、蓮田のあぜ道の草刈りを行ったり、収穫した蓮を分解して仕分けしたりしました。時には布勢町の方と一緒に作業も行いました。地域の方に手押し式の草刈り機の使い方を教えてもらいながら作業しました。

新規利用者数も少しずつではありますが増えてきましたので、これからも職員一同笑顔で支援を行っていきます。

延利用人数 2,226人

##### ② 総出事業

「100の仕事で100の働きづらさを抱えた人に」を目標に事業を行う総出事業。令和2年度も多くの方に総出を利用していただき、社会とのつながりを持ってもらうことができました。年齢や体調の不安からずっと家にいるだけの生活をしていた高齢の方が、自分の居場所としてつどいにきて毎日のように作業をしています。これからも一人でも多くの働きづらさを抱えた人に働く場を提供できるよう事業を進めていきます。

延利用人数 404人

#### 5) 障がい者等日中一時支援事業（長浜市と米原市の委託事業）

##### ① 障がい者等日中一時支援事業 つどいキッズ

7歳から20歳の障がいを持つお子さんをお預かりし、お子さんが安心して過ごせる場の提供とご家族の負担軽減・就労支援を行いました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり夏休み、冬休みの日数が少なかったこともあり利用人数が例年より減少しています。

感染予防のため密になる活動はあまりできませんでしたが、放課後児童クラブの子どもたちと楽しい時間を過ごしました。

日中一時支援（つどいキッズ 18 歳未満）は令和 2 年度をもちまして終了となります。  
※作業所利用者（18 歳以上）のみ、作業所終了後の預かりは継続します。  
延利用人数 225 名

6) **子育て支援事業 放課後児童クラブ つどいジュニア（令和 3 年 3 月 31 日事業終了）**

通年通所契約児童数は、南郷里小学校 5 名、北郷里小学校 1 名。長期休業時のみ契約は、南郷里小学校 5 名、北郷里小学校 3 名、南小学校 1 名でした。

4 月、新学期を楽しみにしていた矢先に新型コロナウイルスの影響で一斉休校となりつどいジュニアでもできる限りの対応をしました。しかし、市内での感染者が確認されたことによりやむを得ず 4 月 20 日から 5 月末日まで臨時閉所を決めました。6 月より再開しましたが、夏休みも日数が少なく利用者数も減少しました。通所児童が中学年以上のお子さんが多かったこともあり、一人でお留守番ができるとの理由で利用無しの方もいました。利用者の減少、支援員確保が困難、市内に民間放課後児童クラブが複数あることから、令和 2 年度をもって事業終了といたしました。

延利用人数 266 名

7) **高齢者よりあいどころ・地域交流事業**

① **高齢者よりあいどころ**

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、当初予定していた活動が大幅に制限される一年となりました。

**きっちんるんるん・Live つどい**

きっちんるんるんは、中止・再開を繰り返しながらも、高齢者の方々に楽しみながら生きがいを感じて頂く場となりました。

Live つどいのボイストレーニングでは、密を避けるため間隔を開けマスク着用にて行い、心肺機能を高め免疫力をあげていくことを行いました。

延利用人数 317 人

**ときわ亭体幹トレーニング**

自粛生活で運動不足になりがちな高齢者の方々に、体力をつけて免疫力をあげていくことを目的として行いました。

延利用人数 255 人

**よりどころあいのたに**

カラオケの方はコロナの影響で中止となりました。体幹トレーニングは、地域の方に来て頂き体力や免疫力をあげることを目的として感染対策をしながら行いました。

延利用人数 524 人

② **地域交流事業**

喫茶るんるんは、新型コロナウイルス感染拡大予防のため閉所いたしました。

### 3. 事業の実施に係る事項

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従業者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
介護保険法 に基づく介 護保険事業	① 居宅介護支援事業 (ケアプランつどい)	R2.4.1 ～ R3.3.31	長浜市 常喜町 874-2	4名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 介護件 1,187 件 総合事業 578 件	21,141
	② 通所介護事業 (デイサービスつどい)	R2.4.1 ～ R3.3.31	長浜市 常喜町 671-1	11名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 年間延べ 7,183 人	41,484
	③ 通所介護事業 (七条つどい)	R2.4.1 ～ R3.3.31	長浜市 七条町 320-4	12名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 年間延べ 6,797 人	45,084
その他 (関連事 業)	① いきいきつどい	R2.4.1 ～ R3.3.31	長浜市 常喜町 671-1	1名	長浜市、米原市内在住 の高齢者 年間延べ 147 人	464
	② 就労継続支援事業 (B型作業所つどい) (総出事業)	R2.4.1 ～ R3.3.31	長浜市 常喜町 885 その他受 託場所	8名	長浜市、米原市内在住 の障がい者 働きづらさを抱えた方 年間延べ 2,630 人	39,923
	③ 放課後児童クラブ事業 (つどいジュニア)	R2.4.1 ～ R3.3.31	長浜市 常喜町 885	5名	南小・南郷里小・北郷 里小に通う児童 年間延べ 266 人	990
	④ 日中一時支援事業 (つどいキッズ)	R2.4.1 ～ R3.3.31	長浜市 常喜町 885	3名	長浜市・米原市内の障 がいをもつ小学生から その他(高校卒業者) 年間延べ 225 人	45
	⑤ 高齢者活躍よりあいどころ事業 (きっちんるんるん) (Liveつどい) (体幹トレーニング・ときわ亭) (よりあいどころあいのたに)	R2.4.1 ～ R3.3.31	長浜市 七条町 320-4 常喜町 671-1 布勢町 123	2名	地域の 65 歳以上の高 齢者 年間延べ 1,096 人	1,997

令和2年度 活動計算書  
 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 つどい  
 (単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	259,000	259,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	3,186,000	3,186,000
3. 受取助成金等		
受取公共助成金	7,579,325	
受取民間助成金	1,073,320	8,652,645
4. 事業収益		
介護事業収益	131,012,637	
設備利用事業収益	9,939,725	
業務受託事業収益	4,674,724	
就労支援事業収益	16,089,321	161,716,407
5. その他収益		
受取利息	172	
雑収益	263,153	263,325
経常収益計		174,077,377
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	82,643,401	
法定福利費	11,099,890	
福利厚生費	2,782,004	
人件費計	96,525,295	
(2) その他経費		
仕入高	53,410	
外注費	5,174,823	
旅費交通費	42,420	
通信費	2,540,440	
交際費	214,752	
寄付金	100,000	
会議費	92,215	
減価償却費	9,671,630	
賃借料	347,210	
地代家賃	3,456,000	
リース料	3,243,276	
保険料	1,937,363	
修繕費	1,712,237	
水道光熱費	3,339,269	
燃料費	2,711,081	
消耗品費	4,523,850	
租税公課	616,539	
運賃	940	
事務用品費	1,305,443	
広告宣伝費	200,793	
支払手数料	424,249	
諸会費	1,359,200	
新聞図書費	103,062	
貸倒損失	0	
管理諸費	225,511	
少額資産特例償却費	1,659,333	
支払顧問料	360,000	
食事費用	8,563,432	

イベント費用	228,908		
研修費	162,777		
試作品費	128,410		
雑費	104,770		
その他経費計	54,603,343		
事業費計		151,128,638	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	5,472,000		
給料手当	5,393,300		
法定福利費	1,154,420		
福利厚生費	1,046,960		
人件費計	13,066,680		
(2) その他経費			
外注費	65,075		
旅費交通費	18,440		
通信費	730,597		
交際費	1,081,968		
会議費	177,628		
減価償却費	298,349		
賃借料	300		
地代家賃	240,000		
リース料	416,024		
保険料	217,902		
修繕費	47,850		
水道光熱費	149,278		
燃料費	57,436		
消耗品費	180,291		
租税公課	62,524		
運賃	48,961		
事務用品費	355,887		
広告宣伝費	143,600		
支払手数料	1,011,287		
諸会費	114,400		
新聞図書費	10,562		
管理諸費	133,760		
支払顧問料	1,414,930		
食事費用	36,464		
イベント費用	157,355		
研修費	543,034		
支払利息	1,182,686		
その他経費計	8,896,588		
管理費計		21,963,268	
経常費用計			173,091,906
当期経常増減額			985,471
III 経常外収益	0	0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用	0	0	
経常外費用計			0
V 法人税等	264,100	264,100	
法人税等計			264,100
当期正味財産増減額			721,371
前期繰越正味財産額			10,605,516
次期繰越正味財産額			11,326,887

令和2年度 貸借対照表  
令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人 つどい  
(単位：円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	40,296,510		
未収金	29,386,128		
貸付金	3,000,000		
仮払金	13,839		
前払費用	656,308		
車輛リサイクル料	238,590		
流動資産合計		73,591,375	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	35,010,650		
建物附属設備	16,274,930		
構築物	1,803,061		
機械装置	518,212		
車両運搬具	2,446,131		
工具器具備品	1,824,510		
土地	4,311,056		
有形固定資産計	62,188,550		
(2) 投資その他の資産			
差入保証金	200,000		
保険積立金	361,897		
投資その他の資産計	561,897		
固定資産合計		62,750,447	
資産合計			136,341,822
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	2,366,505		
未払費用	11,350,330		
未払法人税等	264,100		
預り金	97,000		
流動負債合計		14,077,935	
2. 固定負債			
長期借入金	110,937,000		
固定負債合計		110,937,000	
負債合計			125,014,935
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		10,605,516	
当期正味財産増減額		721,371	
正味財産合計			11,326,887
負債及び正味財産合計			136,341,822

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「Ⅲ 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部  
1 流動資産

II 負債の部

III 正味財産の部

1 指定正味財産

指定正味財産合計

2 一般正味財産

一般正味財産合計

用途等が制約された寄附金等の残高を記載

×××

○○○



様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（計算書類の注記）」）

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当事項ございません。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
定率法（ただし、建物並びに平成28年4月1日以降取得建物附属設備及び構築物については定額法）
- (3) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	57,601,992	0	0	57,601,992	22,591,342	35,010,650
建物附属設備	19,312,722	0	0	19,312,722	3,037,792	16,274,930
構築物	3,115,654	0	0	3,115,654	1,312,593	1,803,061
機械装置	2,415,472	0	0	2,415,472	1,897,260	518,212
車両運搬具	4,484,559	3,509,894	0	7,994,453	5,548,322	2,446,131
工具器具備品	1,941,509	1,742,850	0	3,684,359	1,859,849	1,824,510
合計	88,871,908	5,252,744	0	94,124,652	36,247,158	57,877,494

3. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	62,885,000	60,000,000	11,948,000	110,937,000
短期借入金	2,000,000	0	2,000,000	0
役員借入金	17,116,743	0	17,116,743	0
合計	82,001,743	60,000,000	31,064,743	110,937,000

4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
地代家賃	3,696,000	2,640,000
食事費用	8,599,896	432,000
活動計算書計	12,295,896	3,072,000
(貸借対照表)		
未払金	2,366,505	882,086
貸借対照表計	2,366,505	882,086

## 財産目録

令和 3年 3月31日現在

特定非営利活動法人 つどい  
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	228,301	
レーク伊吹農協普通預金	20,079,838	
滋賀銀行普通預金	19,081,133	
長浜信用金庫普通預金	566,775	
ゆうちょ銀行普通預金	6,500	
ゆうちょ銀行当座預金	333,963	
未収金		
介護事業未収入金	22,934,446	
業務受託事業未収入金	2,429,973	
就労支援事業未収入金	2,717,591	
設備利用事業未収入金	23,117	
農園事業未収入金	1	
長浜市補助金未収入金	1,231,000	
講師謝礼未収入金	50,000	
貸付金		
合同会社TUNAGU貸付金	3,000,000	
仮払金		
ヤマト運輸(株)プリペイドカード残高	13,839	
前払費用		
前払事業所家賃	124,000	
前払福祉サービス保障料	165,258	
前払建物共済保険料	73,717	
前払研修費	183,333	
前払会費	86,000	
前払警備費	16,500	
前払ボランティア保険料	7,500	
車輛リサイクル料		
車輛リサイクル料24台分	238,590	
流動資産合計		73,591,375
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物		
事業所建物及び改装費用	35,010,650	
建物附属設備		
建物内設備他	16,274,930	
構築物		
舗装工事費用他	1,803,061	
機械装置		
蓄電池他	518,212	
車両運搬具		
車両	2,446,131	
工具器具備品		
パソコン、エアコン他	1,824,510	
土地		
事業所建物敷地	4,311,056	
有形固定資産計	62,188,550	
(2) 投資その他の資産		
差入保証金		
100BLG(株)保証金	200,000	
保険積立金		
レーク伊吹農協建更	361,897	
投資その他の資産計	561,897	
固定資産合計		62,750,447
資産合計		136,341,822
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
理事長立替経費未精算額	882,086	
食事費用	859,370	
修繕費用	279,697	
検診費用	35,325	

事務用品及び消耗品費用	310,027		
未払費用			
給料	6,998,763		
社会保険料	2,459,792		
研修費用	550,000		
燃料費	482,017		
顧問料	104,500		
工賃	457,665		
中小企業退職金共済	125,000		
その他経費未払分	172,593		
未払法人税等			
法人税、県民税及び市民税	264,100		
預り金			
次年度会費預り金	97,000		
流動負債合計		14,077,935	
2. 固定負債			
長期借入金			
日本政策金融公庫借入金	28,683,000		
滋賀銀行借入金	82,254,000		
固定負債合計		110,937,000	
負債合計			125,014,935
正味財産			11,326,887